

1部 世界の一体化と日本

1章 前近代の諸文明

1節 東アジアの文明

2 草原をかける遊牧民族 —東アジアのもう一つの勢力

(教科書P14~15)

●騎馬遊牧民の活躍

1. 騎馬遊牧民の登場

前7世紀 スキタイ文化(騎馬, 戦闘的)

→**騎馬遊牧民**: 周辺の農耕社会に進出し脅威に

2. 草原と農耕社会

農耕社会との関係

・破壊・略奪・交易“**草原の道**”

→東西文化をつなぐ役割

スキタイとは:ギリシア人が呼んでいた記録に残る最古の遊牧騎馬民族のこと

●万里の長城と匈奴の拡大

1. 万里の長城修築→匈奴の侵入を防ぐため

匈奴とは:

モンゴル高原の遊牧騎馬民族です。非常に広い地域に影響力をおよぼし、中央アジアの農耕地帯への度々進出しています。とくに、オアシス地帯の民にとっては、略奪者であった。始皇帝はこの匈奴への対策として万里の長城を築きます。

※基本的に中国はこの匈奴をはじめ遊牧騎馬民族に常に劣勢に立たされます。

2. 匈奴の隆盛

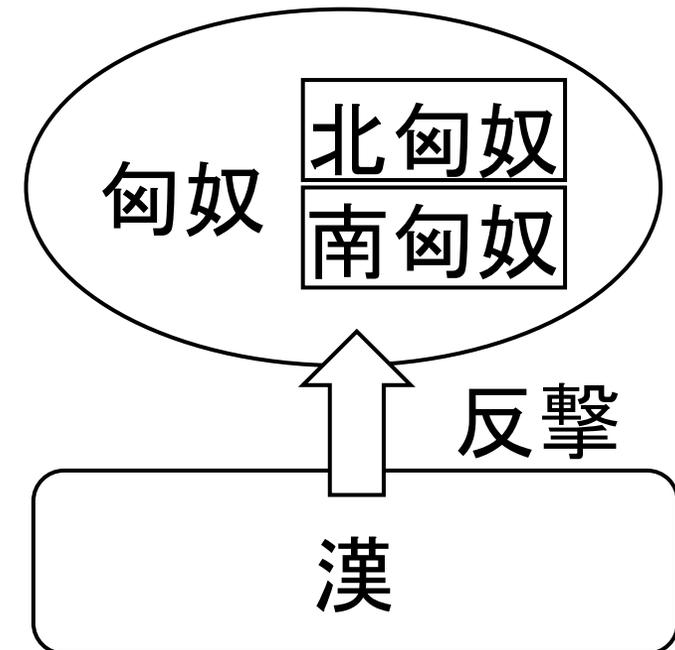
- ・ **冒頓単于**: 騎馬遊牧民の大帝国建設, 中国圧迫
→ 武帝の反撃を受け衰退 → 分裂

単于: 匈奴の王という意味

4世紀後半
フン人

南ロシア

※フン人: ゲルマン人の大移動により476年西ローマ帝国は滅亡した。その移動を誘発したのが匈奴の末裔と言われているフン人の侵攻である。



●張騫とシルク=ロード

1. **張騫**: 匈奴政策として武帝の命を受け大月氏と同盟締結のため派遣される。

結果は失敗(同盟を結んでももらえなかった。。。。)

※大月氏: 現在の黄河上流域を拠点としていた月氏が匈奴に攻撃され西方に逃れた。この移動した月氏を大月氏という。

失敗したのに、なんで張騫は有名？

実は、武帝の命を受け旅立ちますが、大月氏がどこに住んでいるか知らなかった。そのため、13年間も中国より西側を彷徨いつづけます。結果、今まで未開の地であった地域そして交易路を知ることになり、東方から西方に向けての**シルクロード**が開かれるきっかけになったのです。だから、失敗しても、重要な人物となってるんだね。

→西域の情報が中国に伝わる→東西交易活発化

●張騫とシルク=ロード

実は、シルクロードだけじゃなかった交易路

交易路の種類

- ・**絹の道**(シルク=ロード):オアシス都市を結ぶ交易路
- ・草原の道:ユーラシア北部 騎馬遊牧民が活躍
- ・**海の道**:東西を結ぶ海上交易路

教科書P15の上の地図確認しておいてくださいね。